

別紙 A

四日市版コミュニティスクール報告書（令和元年度総括）

四日市市立羽津北小学校

校長 野口 裕

1 コミュニティスクール（運営協議会）のねらい

- ① 学校・保護者・地域が互いに連携し、児童の教育を協働して進め、自分らしさを出し合い、共に学ぶ児童の育成に努めます。
- ② 保護者や地域の声を反映した教育活動を進めることで、学校とともに児童を育成する中心的な役割を果たします。

2 コミュニティスクール（運営協議会）の実践について

(1) 教育活動の実践事例

【交通少年団】

本校では、今年度、交通少年団を結団しました。PTA安全部の指導の下、羽津地区まちづくり推進協議会、四日市北交通安全協会の支援を受け、登下校の子ども達の安全を守るため活動を行います。

入団式は、児童代表が交通安全に気をつける決意表明を行い、団旗が手渡されました。参加した6年生の子どもたちは、協会の方の話を真剣な眼差しで聞いていました。



【班長旗講習会】

交通少年団の結団に合わせて、子どもたちの交通安全の意識を高めようと、地域・保護者・学校が連携して、PTA安全部主催による班長旗講習会が開催されました。体育館で安全部の方に指導されながら、安全な横断の方法について練習しました。

保護者の方と共に練習することで、子どもたちの意識の高まりとともに、地域全体で見守っていこうという意識も高まりました。



【図書ボランティア(羽津絵本の会・どっこいしょ)】

本校では、図書ボランティアの「羽津絵本の会」と「語りの会どっこいしょ」の方に来ていただき、図書室にて読み聞かせや語り聞かせをいただいています。子どもたちは、これらの活動を楽しみにしており、毎学期の「図書館祭り」ととも



に、読書への興味や関心が高まっています。

【羽津花美好の会の方との交流】

2年生は、羽津山緑地公園にて花美好の会の皆さんと共に、春と秋に花の苗植えの活動を行っています。会の皆さんに教えていただきながら、いっしょに花を植えることで子どもたちも、公園の整備に関わることができました。苗植えの活動を通して、子どもたちの自己有用感も高まり、自然や環境を大切にする気持ちと地域を愛する心を育むことができました。



【陶芸活動】

地域の地場産業である萬古焼の学習として、地域の萬古焼工場やばんこの里会館を見学しました。また、地域の陶芸家の方を招いて陶芸教室を開き、萬古焼についての説明を聞いた後、焼き物作りに取り組みました。

本校では全学年で焼き物作りを行い、地域の産業についての学びを深めています。



【ばんこの店】

3年生は、自分たちで作り上げた焼き物を、授業参観の日に「ばんこの店」を開いて販売しました。当日は、たくさんの保護者の方に来ていただき、子どもたちが心を込めて作り上げた作品を買ってもらいました。地域に密着したキャリア教育の場となりました。



【米洗川探検】

クラブ活動の時間「チャレンジタイム」に、本校南側を流れる米洗川(よないがわ)探検を行っています。

地域の方から米洗川の歴史をおしえていただくとともに、米洗川に住む生き物について川に入って探検しました。実際に生き物を観察することで、地域の自然に触れる良い機会になりました。



(2) コミュニティスクール（運営協議会）の取組による効果

本年度からスタートしたコミュニティスクールの名前を、本校のシンボルであるけやきの木から文字をとり、「けやき委員会」と名付けました。

子どもたちの授業の様子やP T A学年親睦会の活動等を参観していただき、本校の教育について様々な角度からご意見をいただき協議する事ができました。

初年度は、コミュニティスクールとして何ができるのかという議論からスタートし、登下校の見守り活動の推進が話題になりました。その議論を経て、地域の各団体による見守りを一覧にまとめ、現状を確認することができました。また、本校は今年度、「守ってくれてありがとう運動」の指定校に選ばれるとともに、交通少年団を結団し、あわせてP T A安全部による班長旗講習会も始まりました。この他にも、羽津地区のまちづくり推進協議会より登下校の児童の見守り用のベストもいただきました。これらの活動をつなげて、総合的に児童・保護者・地域の交通安全の意識を高める取組を進めることができました。

さらに、地域とのかかわりのある活動として萬古焼体験、花美好の会との活動、米洗川探検などが話題になり、地域の方を学校にゲストティーチャーとして招くことの意義の確認とさらなる充実に向けての具体的な取組方が話し合われました。今後も地域との連携を大切にすることによって、より豊かな人間性を育むことができると考えます。

また、本校のコミュニティスクールのこれからの活動の充実ため、委員長・副委員長には、「地域とともにある学校づくり 推進フォーラム i n 滋賀」へ参加していただきました。他地域の取組の中から、本校の取組の参考となる事例を学び、今後の方向性を検討する資料としていただきました。

学校評価では、児童アンケートの「ボランティアに来ていただく学習は楽しい」には97%の児童が楽しいと回答しています。また、保護者アンケートでは、「お子様は、自分や友だちの安全に気を付けて登下校したり、学校生活を送ったりしている。」について、97%の保護者より肯定的な回答をいただいています。外部講師の有効な活用や子どもたちの安全意識の向上について、今後もコミュニティスクールが地域の方たちと学校を「つなぐ」ことができるように、役割を果たせる取組を進めることが大切です。

3 今後に向けて

- ・登下校の見守りなどの子どもの安全を守る活動を通して、地域と保護者・学校が協力し合う関係がより深まったと思います。今後も、この連携を大切にしながら、これまでの活動の継続と無理のない発展的な活動を目指していきたいと考えています。
- ・コミュニティスクールとして「けやき委員会」の活動と今後の方向を、リーフレットにまとめました。コミュニティスクール指定1年目のため、まだまだ地域・保護者に浸透していないという課題があります。今後の活動の推進のためにも、リーフレットを活用したり、学校だよりやHP、地域回覧等で積極的に発信・啓発したりしていく必要があります。

別紙B

令和元年度四日市版コミュニティスクール活動報告

四日市市立羽津北小学校

委員長 平野 正興

校長 野口 裕

月	協議会の開催	活 動 内 容
4		
5	第1回けやき委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・委員委嘱 ・規約確認 ・学校づくりビジョン説明と承認
6	第2回けやき委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・PTA行事参観 ・今後の活動計画検討
7		
8	臨時けやき委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・通学路の安全確保について ・コミュニティスクールリーフレット検討
9	臨時けやき委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・今後の活動の方向について ・コミュニティスクールリーフレット検討
10		
11	第3回けやき委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・授業参観 ・学校評価 ・コミュニティスクールリーフレット検討
12		
1	第4回けやき委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティスクールリーフレット検討 ・今後の方針について
2	第5回けやき委員会 新型コロナウイルスのため中止	
3	第5回けやき委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・学校関係者評価 ・今年度の総括と来年度の体制と方針について